

⑪行動年間計画

評価 (◎・・・十分できた ○・・・できた △・・・不十分)

月	生徒指導主事	評価 教育相談コーディネーター・ 特別支援教育コーディネーター	評価 主幹教諭 (教務主任)	評価 研究主任	評価 生徒会主任	評価 学級担任 学年主任	評価 全職員	評価
4	・部会で分掌の確認及び共通理解を図る。 ・保護者向けネットトラブル防止についての便り・シラバス・講演会で啓発する。 ・いじめに関するアンケートの実施 (ふりかえりアンケート)	・部会で分掌の確認及び共通理解を図る。 ・学校生活での悩み・いじめに係わる相談体制の整備、相談窓口の周知徹底を行う。 ・校内研修 (S C) ・専門相談員派遣要請	・学習ルールの意義や校内生活に関する全校集会を研究主任・生徒指導主事と連携して実施する。	・学校研究提案 (自己決定、自己肯定感、共感的人間関係の視点を含めた研究授業を提案) ・部会での分掌の確認及び共通理解を図る。	・異学年の交流 (新入生歓迎会、生徒総会等)を通して、人間関係を構築する。	・学活で学級目標について考え、クラスにとって、生徒一人ひとりにとって何を大切にすべきかを考えられるようにする。 ・平和集会を通じ、平和・生命・人権の大切さを考えさせる。(3年)	①「ほうれんそう」ファイルによる生徒の様子の把握及び共通理解を实践 ②担任を中心に生活ノート、アンケート、教育相談等を通じて知り得た情報のうち、気にかかるとは直ちに報告・相談をする。 ③規律・学力・自己有用感を確立・向上させる。 ④通信物、手紙、電話等の定期連絡、家庭 (地域) 訪問、保護者会等を通して保護者と情報を共有し、連携を進める。	
5	・いじめに関するアンケートの実施 (ふりかえりアンケート) ・いじめ問題対応アドバイザー来校要請	・いじめ・悩み調査と定期教育相談を実施し、共通理解を図る。 ・個別支援シートに関する提案と共通理解を図る。	・全校集会で人権に関する講話を人権教育担当と連携しながら行う。	・学習ルールの意義について全校集会で確認する。 ・校内研修企画・実施	・全校での活動 (陸上競技大会応援)を通して、自己肯定感や自己有用感を高める。	・修学旅行・遠足でより良い友人関係、集団づくり、社会性を育む。 ・教育相談と地域 (家庭) 訪問で生徒理解を深める。		
6	・学級集団理解調査 (Q-U) で実態をつかみ、共通理解と実践を図る。 ・いじめに関するアンケートの実施 (ふりかえりアンケート)	・教育相談の実施	・非行被害防止教室	・校内研修企画・実施		・人間関係づくりエクササイズ (1年) を実施し、コミュニケーション能力を伸ばす。 ・校内私の主張大会への参加を通じ、人権意識を高める。		
7	・「取組評価アンケート」、「取組についてのチェック」で1学期の取組を検証する。 ・いじめに関するアンケートの実施 (迷惑調査、生活アンケート) ・いじめ問題対応アドバイザー来校要請	・校内支援委員会を開催する。	・授業に関するアンケートを生徒に実施し、分析・改善策を提案する。 ・長期休業に向けての生活の過ごし方についての全校集会を生徒指導主事と連携して行う。	・校内研修企画・実施		・学級集団理解調査 (Q-U) 結果の共通理解と対策を進める。 ・職場体験学習を通して社会性を育成する。(2年)		
8	・校内研修会を開催し、学級集団理解といじめ防止に関する職員の資質向上を図る。					・地域ボランティア参加を通して自己有用感を育む。		
9	・いじめに関するアンケートの実施 (ふりかえりアンケート)	・校内支援委員会を開催する。	・全校集会で人間関係づくりに関する講話を生徒会担当と連携しながら行う。 ・学習ルールの意義や校内生活に関する全校集会を研究主任・生徒指導主事と連携して実施する。	・校内研修企画・実施	・運動会の参加により人間関係づくりを進める。	・生活チェックを行い、自己の生活を見つめ直す機会を設ける。 ・学活でよりよい人間関係づくりを構築する機会を設ける。 ・人間関係づくりエクササイズ (1年) を通しつきあい方を学ぶ。		
10	・いじめに関するアンケートの実施 (迷惑調査、生活アンケート) ・いじめ問題対応アドバイザー来校要請	・校内支援委員会を開催する。		・校内研修企画・実施	・学校祭参画を通して、生徒同士の絆づくりを進め、自己有用感を獲得させる。	・学校祭に向けての活動を通して、人間関係を深める。		
11	・学級集団理解調査 (Q-U) で変化をつかみ、共通理解と実践を図る。 ・いじめに関するアンケートの実施 (迷惑調査、生活アンケート)	・いじめ・悩み調査と定期教育相談を実施し、共通理解を図る。 ・校内支援委員会を開催する。		・校内研修企画・実施		・教育相談で生徒理解を深める。		
12	・「取組評価アンケート」、「取組についてのチェック」で2学期の取組を検証する。 ・校内研修会を開催する。 ・いじめに関するアンケートの実施 (ふりかえりアンケート)	・校内支援委員会を開催する。	・授業に関するアンケートを生徒に実施し、分析・改善策を提案する。 ・長期休業に向けての生活の過ごし方についての全校集会を生徒指導主事と連携して行う。	・校内研修企画・実施	・人権週間を通して、人権 (特にいじめ) について主体的に考え、意見が言える集団をめざす。 ・ネットルールづくり	・学級集団理解調査 (Q-U) 結果の共通理解と対策を進める。		
1	・いじめに関するアンケートの実施 (ふりかえりアンケート) ・いじめ問題対応アドバイザー来校要請	・校内支援委員会を開催する。	・学習ルールの意義や校内生活に関する全校集会を研究主任・生徒指導主事と連携して実施する。	・校内研修企画・実施		・職業講話学習 (1年) を通じ、人と関わる大切さに気づくことができるようにする。 ・ピュアキッズスクール (1年) を通じ、規範意識を高める。		
2	・いじめに関するアンケートの実施 (ふりかえりアンケート)	・校内支援委員会を開催する。 ・いじめ・悩み調査及び定期教育相談を実施する。		・研究のまとめ		・生活チェックを行い、自己の生活を見つめ直す機会を設ける。 ・教育相談で生徒理解を深める。		
3	・「取組評価アンケート」、「取組についてのチェック」で3学期の取組を検証する。 ・校内研修会を開催する。 ・個人カードの点検 次年度への引き継ぎ準備	・個別支援シートの整理 ・1年間の振り返り及び次年度への引き継ぎ準備	保護者・教職員へのいじめ等へのアンケートを実施し、次年度への改善策を提案する。	・次年度への引き継ぎ準備				

生徒理解
・
ほうれんそう」ファイルの充実促進